

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 書面提出による集計（令和3年9月12日）

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー 古川和憲・矢澤房子・東別府昭弘・有島亜希子  
松元忠夫・橋本光司・芝原弘子・服部龍之介  
林田真紀・山元真衣

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	9人			10人

前回の改善計画	・担当職員を中心とした“その人を大切にできるケア”をサービス導入初期から実践し、安心感や自己効力感を感じていただくことができるように日頃から関わることとする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・サービスの導入初期から、担当職員が利用者様毎の個別援助計画の反省、再検討のプロセスに関わる事で、利用者様のことを考え、より良い暮らしのためにどのような支援を行うべきかについて意見交換を行うことができるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	5人	5人			10人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	4人	5人	1人		10人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	3人	6人		1人	10人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1人	7人	1人	1人	10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・支援の開始前に必要な情報を確認し、職員間で支援の方法や支援の方向性について意見交換を行うことで、初期支援の段階から充実したケアに繋がっている。 ・丁寧な声掛け、気遣い、関係作りができています。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・ご本人が希望している関わりが実施できていないのではないかと感じる時がある。 ・自分が担当する利用者様であるが、ご本人やご家族の不安を受け止め、配慮して実践しているが、抱えている不安を拭き切ることが難しいと感じている。自分たちの関わりだけでは、軽快、解消は難しいのではないかと考える。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・初期支援の段階での関わりについて重要性を認識すると同時に、書面での情報提供書に限らないご本人の「語り」を大切にしたい関わりを実践する。具体的には、情報を得たい時は、まずはご本人に質問して考えを伺い、必要であれば各所連携や職員間の情報共有を図ることとする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 書面提出による集計（令和3年9月12日）

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

メンバー 古川和憲・矢澤房子・東別府昭弘・有島亜希子  
松元忠夫・橋本光司・芝原弘子・服部龍之介  
林田真紀・山元真衣

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	5人	4人		10人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケアプランや実際の関わりにおけるPDCAサイクルの質の向上を実現するため、ケアプラン（居宅サービス計画書）や個別援助計画について職員のそれぞれがきちんと読んで、念頭におきながら支援にあたることとして、時には振り返りの場を設けることとする。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケアプラン（居宅サービス計画書）を職員が確認しやすい環境を整え、あるいは、サービス担当者会議でのご本人やご家族の言葉や思いを職員が共有することで、自己実現の尊重に繋がる支援を行うことができるように努めた。個別援助計画の反省という形で、各職員が振り返りの機会を作っている。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	2人	4人	3人	1人	10人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		6人	3人	1人	10人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1人	4人	4人	1人	10人
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	3人	2人	4人	1人	10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>担当職員が利用者様の個別援助計画の毎月の評価を行うことで、ご本人の想いに近づくことができ、また、それを職員間で共有することができている。</li> <li>目標は『ゴール』というよりも現状を維持するという利用者様もいらっしゃるように感じているが、ご本人が『できるようになりたいこと（例えば「昔みたいに、また綺麗な声で歌いたい」とい思い）』を伺い、一緒にその実現のために考えを巡らせるという関わりができています。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意思を明確に表明することが難しい利用者様（認知症を患う方や、ご家族が離れて暮らし、思いや考えに相違が生じる方など）については、目標の設定やそれに向かってケアを進めることができていないかも知れないと感じている。</li> <li>重点とすべき支援については実施できているが、細部における関わりについては目標に向けた計画通りにケアが行えていないと感じている。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>ちょっとした気付きを職員が共有して支援の方向性を統一できるように、申し送りノートの活用をさらに質の高いものとする（回覧手法の改善、意見交換の場の創出など）。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 書面提出による集計（令和3年9月12日）

3. 日常生活の支援

メンバー 古川和憲・矢澤房子・東別府昭弘・有島亜希子  
松元忠夫・橋本光司・芝原弘子・服部龍之介  
林田真紀・山元真衣

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？		9人	1人		10人

前回の改善計画
・利用者様の言動や、あるいは声にならない思い、暮らし方の背景など、考え、分析して、さらに質の高いかわりを実現するための仕組みを作る。
前回の改善計画に対する取組み結果
・意見交換の場で関わり方の見直しを行うことができる体制が整いつつある。ショートミーティングという形式を、自然発生的な意見交換の場という形に発展させて、必要な時に短い時間で支援の方向性や具体的な関わり方を検討することが日常行われている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		3人	5人	2人	10人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	4人	5人		1人	10人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		6人	4人		10人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	5人	5人			10人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	2人	6人	2人		10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・日々変化する利用者様の身体面、心理面の状態把握に努めて、特に認知症のある利用者様との関わりにおいては傾聴を心掛けて、笑顔を引き出すことができている。 ・表情を観察してその変化に気づき、丁寧な声掛けを行うことができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・感染症対策のために、十分な意見交換の場が設けられていないと感じる。利用者様についての情報共有が十分にできていないと感じることがある。 ・業務の流れに沿ったケアを優先して、利用者様の以前の暮らし方をうかがい、支援の方向性に繋げるといったことができていないと感じる時がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・業務の流れに沿うことは必ずしも最優先ではなく、利用者様ご本人やご家族、あるいは地域の方たちが本当に必要としていることはどのようなことか、あらためて職員みんなで考える機会を作り、実践に繋げる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	書面提出による集計（令和3年9月12日）
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	古川和憲・矢澤房子・東別府昭弘・有島亜希子 松元忠夫・橋本光司・芝原弘子・服部龍之介 林田真紀・山元真衣

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	4人	3人		10人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者様ご本人を支える支援については、日頃からショートミーティングやその他の意見交換の場で話し合い、「より良いものをみんなでつくる」という意識のもとに、毎月の行動目標を設定して、事業所の職員全員がそれに取り組んでいくものとする。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月の行動目標＝職員みんなが一丸で取り組む「アクション〇〇」を毎月掲げて、普段から心掛けて目標達成のために日々取り組んでいる。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		7人	3人		10人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1人	3人	5人	1人	10人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		4人	3人	3人	10人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		2人	6人	2人	10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症対策を講じる形での情報共有の形作りを進め（申し送りノートの様式変更と活用、居宅サービス計画書の周知）、それをもとに考え、意見交換するという習慣ができている。</li> <li>朝礼やミーティングで意見を出し合い、行動ができている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症対策の観点から、地域生活の支援においては実施が難しいものが多い。</li> <li>地域との関わりにおいては、事業所として実践できていると考えるが、自分個人としてはできていないと感じる。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>アクションとして、地域での利用者様の生き方暮らし方を知るための関わりを掲げて、職員みんながそれを理解して、より良い関わり方が実現できるようにする。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 書面提出による集計（令和3年9月12日）

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 古川和憲・矢澤房子・東別府昭弘・有島亜希子  
松元忠夫・橋本光司・芝原弘子・服部龍之介  
林田真紀・山元真衣

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	6人	2人		10人

前回の改善計画	・小規模多機能ホームが担うことができる役割について、事業所の職員全員で学びを深めて、「自分たちの事業所だからこそできること」を見出して、意識を統一して取り組むこととする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・一旦登録終了された利用者様が、入院、退院、リハビリテーションを経て、強いご希望にて花海家長寿園の利用を再開して下さる例があり、「循環型サービス提供体制の構築」を事業計画に掲げて取り組んできたことが実を結びつつあると感じている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		7人	3人		10人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	3人	6人	1人		10人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	4人	6人			10人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	2人	8人			10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・健康状態に変化が見られる利用者様においては、訪問看護サービスと連携して支援にあたるなど、実践ができています。 ・日々、変化する利用者様の状態やご家族の状況に応じて、柔軟かつ臨機応変な対応が実践できている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者様の心理面が不安定に陥っている際に、ご本人の思いに沿った関わりが難しいと感じることがある。 ・感染症対策の観点から、今までに活用できていた地域資源（地域のサロンや民生委員、地域の社会福祉協議会としての活動、地域の消防団としての活動）の活用が十分にできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・地域の社会資源についての学習の場を作り、職員の視野を広げる。 ・「家族介護力」や「地域介護力」の向上のための働き掛けを、1つ以上形にして実行する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 書面提出による集計（令和3年9月12日）

6. 連携・協働

メンバー 古川和憲・矢澤房子・東別府昭弘・有島亜希子  
松元忠夫・橋本光司・芝原弘子・服部龍之介  
林田真紀・山元真衣

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？		3人	6人	1人	10人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会情勢の変化という事業所や事業所の職員の働き掛けだけでは改善できない要素があるとは言え、職員は常に「どのようにして地域の皆様と関わり、地域の利用者様や利用者様を取り巻く人々を支えていくか」について考えを巡らせており、新しい関わりの形を見出していくこととする。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践例として、最近1年以内に2名の利用者様をご自宅での看取りに至るまで支援させていただいたが、これはそれに至るまでに各機関と繰り返し話し合いや意見交換を行い、ご本人とご家族が望まれる限りご自宅での暮らしを継続できるように支えたという証であると考え。</li> <li>一方で、感染症の流行はその勢い衰えることなく、新しいかかわりの形を生み出すに至っていない。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1人	3人	3人	3人	10人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1人	1人	3人	5人	10人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？			3人	7人	10人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？			2人	8人	10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>必要性を見きわめながら、関係機関との連携を行うことができている。</li> <li>サービス担当者会議やその他の意見交換の場を通して、医療支援者や福祉用具専門相談員と一緒に様々な課題を検討して、利用者様の「暮らし全般を支える」ということが実践できている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の行事などは行われていない、あるいは規模縮小にて行われているが、参加は難しい。感染症の流行が収束しないため。</li> <li>事業所に、地域の方たちや子どもたちを招き入れることもできていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センターなどからの情報などを共有して、花海家長寿園が地域において果たすべき役割はどのようなものかあらためて学ぶ機会を作り、職員全員で知恵を絞り、地域との連携や協働を目に見える形にする。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 書面提出による集計（令和3年9月12日）

7. 運営

メンバー 古川和憲・矢澤房子・東別府昭弘・有島亜希子  
松元忠夫・橋本光司・芝原弘子・服部龍之介  
林田真紀・山元真衣

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	8人	1人		10人

前回の改善計画	・毎月の行動目標を「アクション」として掲げて、職員全員がそれに取り組むこととするが、行動目標の設定には職員の意見や利用者様、ご家族、地域の皆様の思いを組み入れるものとする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・毎月の行動目標「アクション」を掲げて、職員が一丸となってその目標達成に向けて取り組む体制を築いてゆく道半ばである。 ・現在のところは、「アクション」の設定は、職員の目線によるものに留まっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	1人	6人	3人		10人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1人	7人	2人		10人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		6人	3人	1人	10人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？		1人	6人	3人	10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・令和3年度より、毎月の行動目標を「花海家アクション」として定め、その目標達成のために職員みんなで取り組むことができている。 ・ご家族からの意見などを、実際の運営に反映している。例えば、「花海家新聞」の紙面において、月替わりで職員紹介欄を設けて、「顔の見える関係作り」に努めている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・感染症の流行が未だ先が見えないため、地域と協働の取り組みなど、企画、実践することができていない。 ・「アクション」として掲げた行動目標『利用者様に、忘れ物なくご帰宅していただく』ということについてできていない日がある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・職員が能動的に考え、実践し、それを振り返ることが、事業所を成長させて、利用者様やご家族、地域の皆様の声に応えていく推進力になるものと考えことから、行動目標「アクション」を継続し、職員一人ひとりが自分の言葉で「花海家長寿園をよくするために、こんなことがしたい」という意思表示ができる仕組みと環境を整える。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 書面提出による集計（令和3年9月12日）

8. 質を向上するための取組み

メンバー 古川和憲・矢澤房子・東別府昭弘・有島亜希子  
松元忠夫・橋本光司・芝原弘子・服部龍之介  
林田真紀・山元真衣

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	8人	1人		10人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修計画については継続して作成して、職員個人個人の適性や経験値、思い描く将来像に基づいた実用性のあるものとして運用していく。</li> <li>オンライン研修やオンライン地域連絡会等の機会を逸することなく、事業所の運営基盤の強化に繋げていく。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度、介護福祉士国家資格合格者2名。</li> <li>オンライン研修やオンライン地域連絡会に参加し、知識の向上や情報収集と情報共有を行っている。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	4人	4人	2人		10人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2人	6人	2人		10人
③	地域連絡会に参加していますか	1人	1人	3人	5人	10人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1人	4人	5人		10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>各職員の研修計画に基づいた研修の受講、新規入職者向けのカリキュラムに基づいた研修の受講、各委員会委員の職務に沿った研修の受講が行えている。</li> <li>資格の取得に向けた取り組みが行えている。</li> <li>オンライン研修の導入によって、感染症の心配がなく研修が受講できている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>特に、実際の介護技術を実践の場面で習得するといったような研修は、感染症対策の観点から実施できていない。</li> <li>地域連絡会に参加する職員は限られている。</li> <li>自分の中で考えていることはあるが、実際の取り組みとしては行えていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>全職員がオンライン研修を受講する機会を作り、さらなる質の向上を図る。</li> <li>令和3年度介護福祉士国家資格受験職員2名の合格に向けて、職員みんなで取り組む。</li> </ul>	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 書面提出による集計（令和3年9月12日）

9. 人権・プライバシー

メンバー 古川和憲・矢澤房子・東別府昭弘・有島亜希子  
松元忠夫・橋本光司・芝原弘子・服部龍之介  
林田真紀・山元真衣

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	7人			10人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束適正化委員会は、今後も毎月及び必要時に開催する。</li> <li>・権利擁護についての学びをより一層深める。この中には成年後見制度の理解や、終末期の関わり方、AdvanceCarePlanningについての研修等を含める。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月委員会や勉強会を開催して、知識と意識の向上を図った。</li> <li>・最近1年間の内に、2名の利用者様のご自宅で看取りに関わることができ、実践の場面で、終末期におけるご本人支援、ご家族支援を経験できた。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	9人	1人			10人
②	虐待は行われていない	9人	1人			10人
③	プライバシーが守られている	5人	5人			10人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4人	2人	1人	3人	10人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6人	4人			10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月開催する「花海家権利擁護委員会（令和3年4月に、身体拘束適正化委員会から改称）」の中で意見交換や勉強会を実施して、職員皆が意識高く実践に繋げることができている。</li> <li>・権利擁護に関する研修に参加できている。</li> <li>・個人情報の管理もきちんと行えていると考える。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度ご利用の利用者様は現在存在しない。</li> <li>・成年後見制度についての実践経験や学びが不十分かもしれないと考える。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・権利擁護についての勉強会は、今後も定期的で開催して、さらに知識と意識の向上を図る。</li> <li>・終末期の支援について、成年後見制度についての研修を受講し、知識を深める。</li> <li>・個人情報につき、今後も管理体制を定期的に見直し、ルールを遵守する。</li> </ul>	